

# ☆リサイクルセンターたより☆

あけまして おめでとうございます。

皆様、お幸せな新年をお迎えのことと存じます。

今年もどうぞ、リサイクルセンターのご利用をお待ちしております。

めずらしく、昨年は12月初旬からの大雪と寒さのために、多くの方々がリサイクルセンターをご利用され、例年にも増して冬物の衣類等を探しに来られたようです。また、寒いとなかなか家の中の片付けが進まないようで、リサイクル品の持ち込みが急激に少なくなりました。暖冬になるとの天気予報だったのに、さて1月はどうなることでしょうか。例年冬になると、ウエスの材料となる綿素材の衣類やシーツ、タオル等が不足気味になりますので、どうか皆様の御協力をお願いいたします。

このウエス作りは共同作業所当時より20年以上にわたって、鋏で布を切れる利用者さんたちの作業として続けております。先日、いつもウエスを納品させていただいている会社より、針が混入していたとのご連絡を受け、これまで一度もなかった事だけに、たいへん驚き、すぐに謝罪させていただきました。会社の方は、「利用者さんに怪我がなかったことが幸いで、今後、利用者さんたちが怪我のないようにと思ひ連絡した!」との暖かいお言葉をいただき、返って恐縮する次第です。

ウエス作り担当スタッフの不注意であることは、重々承知の上で皆様へのお願いですが、できましたら、持ち込みのリサイクル品の中に危険物等を入れないように、何卒御配慮の程をお願いしたいと思います。

今後とも、皆様のご理解と御協力のほど、よろしくをお願いいたします。

## 1月カレンダー

5日(月) 仕事始め  
18日(日) 資源回収  
19日(月) 代休

2月の資源回収は休みます

**社会福祉法人ラッコハウス**  
**ラッコハウスをそだてる会事務局**  
〒939-8003  
富山県 富山市 西公文名町 4-17  
電話 076-493-0250  
FAX 076-493-4441  
Eメール raccohouse@pop21.odn.ne.jp  
Web http://www2.odn.ne.jp/raccohouse/

みなさまのお声を  
お待ちしております!

## あなたも「ラッコハウスをそだてる会」(後援会) 会員に!

ラッコハウスの活動に賛同される方に、ぜひご支援していただけますようお願いいたします。

年会費 ●個人 一口 3,000円 ●団体 一口 5,000円

口座 郵便振替 00730-3-12867 (ラッコハウスをそだてる会)

会員の方には、この機関紙「宇宙」を毎月お送り致します。



1 月号

- 1: 年頭のご挨拶
- 2: 自治会だより クリスマス会
- 3: 職場研修ステップアップ研究
- 4: リサイクルたより

あけましておめでとうございます

社会福祉法人ラッコハウス  
理事長 堀口尚

昨年は、年末多忙中の総選挙、消費税増税と国民にとって就中弱者にとって不都合な年でしたが、新年は私たちの一歩大きな前進の年となることを願ひ、「仲間」とその親族の方々、ご町内の方々、ラッコハウス職員の方々、すべての関係する方々のご多幸を祈念して、新年のご挨拶と致します。

二〇一五年元旦





## 自治会だより

# クリスマス会



— 12月初め頃から、レクリエーションをかねてクリスマスの飾り付けをしていました。 —



飾り作り：織田さん、副田さん



12月18日(木)にラッコハウスで毎年こーれいのクリスマス会をしました。今年ケンタッキーの新メニューのほねなしチキンを食べました。そこでみんなほねなしだからケンタッキーは食べやすく良かったと思います。それと寿司を食べました。



みんなが楽しみなカラオケとダンス



みんな今年のプレゼントは何があたるか楽しんでくれ良かったです。

自治会役員が大変な事は、みんなが個々にクリスマスプレゼントをいっきに持ってきた時が大変でした。

(自治会会長 谷口良夫)

## 県社協「職場研修ステップアップ研修」を受講して

11月26(水)、27(木)の2日間、富山県総合福祉館(サンシップとやま)にて、富山県社協富山県福祉カレッジ主催の「職場研修ステップアップ研修」を受講してきました。

富山県福祉カレッジでは、福祉従事者の資質向上のために、年間を通じて幅広い内容の研修カリキュラムを提供されています。これらに参加される方々のほとんどが、多忙な現場を一時離れての勤務の一環としての研修になるでしょう。どれもが短期間に集中して行われています。同じく福祉に携わっている多くの方々が、こうして研鑽を積み重ねているのだなあと思いがちです。

今回のこの研修は、主に職場経験5年以上の中堅職員を対象にしたもので、富山県全域の事業所から約50名の方が受講されていました。研修の目的は下記のとおりです。

「福祉サービスの向上のためには、各職員が仕事に対する高いモチベーションを持ち、スキルアップや業務に対する達成感を味わえるような組織づくりが必要です。この研修では、職員の意欲の向上、スキルアップに向けて、職場での研修を実践する際の問題点とその解決策について学んでいただき、職場研修の定着化及び一層の促進を図ることを目的とします。」

2日間の全体を通して、この研修自体が、参加者の積極性を引き出す研修の進め方のお手本ともいえるような、各所に経験に基づく工夫が凝らされたものであったと感じました。それは例えば「研修グループの最適人数は5～6人がよい」など、細かなことに及んでいました。受け身的に講義を聞く場面は最小限で、ほとんどが個人ワーク、グループワークで色々な課題をやってみるという参加型のプログラムで進められました。これだけは外せないという大事なことを一杯詰め込んだ内容でしたが、休んでいる間もなく集中でき、何としても参加者に実践的に身に付けていって欲しい、そして役立てて欲しい、という主催者の熱意を感じました。

そのためか、同じグループの皆さんも積極的でノリが良く、とても盛り上がりました。また、この機会に他の施設ではどうであるかという話も聞いて大変有意義でした。最初のオリエンテーションで提示された、グループワークの参加者に期待される3点「1. 自主的積極的に発言する 2. 他人の話をよく聞く 3. 時間の節約を意識する」、こうした基本を忘れず自分に意識づけていくのは大事だとあらためて思いました。

この研修で強調されていた2点、「職場研修のほとんどはOJT(業務の中でのトレーニング)、OJTは管理者や指導的職員の本来業務である」「福祉の現場で最も大切なのはチームワークである」、これをあらためて明確にし、職場の問題点をスタッフ間で整理できる力を育てていくことが、もっともっと必要だと思いました。

このように、スタッフが交替で各種の外部研修や障害者団体の大会、フォーラム等に参加させてもらっております。ぜひそこで学んだことを活かし、各自の「やる気・分かる・できる」の向上、そしてチームワークのある楽しい職場作りを目指し、仲間や関係のある方々にとってのより良い環境を整えられるようにしていきたいと思っております。至らぬことばかりですが、ぜひまたよろしく願います。

(沢田 健一)

## ラッコハウスをそだてる会 後援会通信

### ■ 12月度 新規・更新会員

辻角恵介様 北陸銀行職員組合様  
(有)吉川保険事務所様 館雄一郎様 河内賢三様  
西緑様 丸山郁子様

### ■ ご寄付をいただきました

匿名で1名様  
【物品】木村商店様 (株)シマダ様 安岡様

以上、12月20日現在、順不同  
どうもありがとうございました。